

43期生学年通信 No.12 ~2021.6.7 お勉強は計画的に② 号~

期末テストの範囲&ポイント

というわけで、期末テストの範囲はここからだよ~ということと、**今回は特別に**、各教科の先生たちから「こんなふうに勉強してみよう」とか「こういうところを中心に勉強しよう」というアドバイスをします。中には「ここから出題します」というお得な情報も…!これを読まないなんてもったいない!!ぜひ参考にしてください。

教科	範囲はここから	勉強のポイント		
国語	教科書 p16「朝のリレー」~ 常用漢字 p 7 1 ~	☆授業プリントの問題をもう一度答えを見ずに、別の紙や ノートに解いてみよう。それで、もう一度やってみた後、プリントを見直して内容が読めているか確認しよう。 ☆漢字は、濃く大きな字で、練習しよう。できたら、読み方を声に出しながらやると効果的です。		
社会	教科書:P.6~ 資料集、自主学習:教科 書の範囲に準ずる	①教科書の読み直し(資料やグラフだけではなく、資料集や ノートをセットにして) ②小テストや確認テストの再確認(同じような間違いを繰り返さない) ③自主学習の活用(1回目:力試し、2回目、3回目:確認) 『やらされている勉強』ではなく、少しでもいいので『内容 に興味をもった勉強』に変わっていけばいいかも知れませ んね。		
数学	教科書 P10~ ワーク P4~	*計算問題 授業で取り組んだ練習問題やワークの問題で間違えた問題 や理解するのに時間がかかった問題をもう一度解き直しま しょう。計算が苦手でわからない問題が多い人は、ワークの A問題をたくさん練習してできるようになりましょう。 *数学用語の意味 最初の方に学習した整数と自然数の違い、絶対値や逆数の 意味を忘れている人が多いと思うので確認しておいてくだ さい。		

数学		<u>*応用問題</u> ワークのC問題や教科書P54-55 の2~6のような問題		
		が解けるよう、まずは問題をしっかりと読んで内容を理解し		
		する癖をつけましょう。		
	教科書P6~	①単元テストの復習を		
	ワークP6~	か期末テストで同じ間違いをしないように。		
		②ワークをくり返しやっておこう。		
理科		♪1回ではなく、3回やってみて!		
上 注 1 ²		③教科書を 音読 しよう。		
		♪骨教科書と対応したノートのページを開き、教科書を		
		声に出して読みあげる。		
		❸一緒に、ノートの内容も確認しよう。		
	技術	材料の特性、木材の特徴などについてハンドノートを活用		
	「材料と加工の技術」教 科書 P.20~25、P.42~	して学習しておこう。		
	14音 F.20	製図に関しては、等角図を斜眼紙(マス目の用紙)に三角定		
 技術	7、P.22~	規を使ってかけるようにしておきましょう。第三角法によ		
家庭		る正投影図は、読み取る問題を出題します。		
多 庭	家庭	食事の役割、五大栄養素は教科書を読んで、ハンドノートで		
	プリント NO,1~	確認しましょう。答えを隠しながら、何度も解くといいです		
	教科書 P20	ね!プリント NO.4のカルシウム量の計算のところは必ず		
	ハンドノートP2~	確認しておきましょう。		
	保健 保健の教科書 P18-27	授業できいたことと教科書を照らし合わせて学習してくだ		
保健		さい。今回は男女共通です。		
体育	体育 実技の教科書 P335、			
仲月	P336、P30、31、			
	ラジオ体操のプリント			
	「教室で使う英語になれ	① 教科書本文音読プリント Let's Read! を英語から日本語		
	よう」教科書p.6~、	に、日本語から英語に書けるように練習する。単語は完		
英語	基本文マスター①~	璧に覚える!		
		② be 動詞 am, are の文と一般動詞の文の否定文、疑問文		
		の作り方をしっかりおさえよう。		
		③ 「いつ」、「どこ」をたずねる疑問文も作れるように。		
		④ 複数形の作り方も復習しておくこと。		
		⑤ can がある文を使えるように。		

☆裏面に期末テストの時間割を載せています

期末テストの時間割

	テスト時間	6月21日(月)	6月22日(火)	6月23日(水)
1限	8:50~9:40	理科	数学	英語
2限	9:55~10:45(40)	国語	社会	技術家庭(45)
3限	11:05~11:45	保健体育(40)		学活
4限				学活

教え合い学習

先週の月曜日6時間目、各クラスでクラス代表企画の教え合い学習がありました。クラス代表の人が作ってくれた5教科の勉強プリントをそれぞれの班で順番を決めて取り組みました。わからないところは班のメンバーで教え合い、みんなが理解できる状態になるまで頑張る、という活動でした。どのクラスのどの班でも教え合いが活発に行われていました。勉強が得意な人も苦手な人も協力して「みんなで理解する」という空気を作り、日々の授業にも生かしていけたらと思います⑤









